

川越市市制施行90周年記念事業

第2回川越市子ども議会会議録

平成24年11月14日

平成二十四年十一月十四日開会

川越市市制施行九十周年記念事業 第二回川越市子ども議会会議録目次

議事日程	一	会派「チームIKA嬢」	一〇
議場に出席した議員(三七人)	一	会派「もっと広げよう姉妹都市」	一一
欠席議員(一人)	一	休 憩(午後二時二十二分)	一一
議場に出席した理事者	一	議長、副議長交代	一二
議場に出席した事務局職員	二	再 開(午後二時三十五分)	一二
映像記録及び会議録作成協力者	二	会派「小江戸 New Way」	一三
開会式(午後一時三〇分)	二	会派「明るく楽しい町川越」	一五
市長挨拶	二	会派「School!ときも」	一六
市議会議長挨拶	三	会派「川越 future」	一九
子ども議会議員自己紹介	四	日程第 四 決議第 二号 ともに歩む未来に関する決議	二一
理事者並びに議会事務局長紹介	四	二一
尚美学園大学芸術情報学部情報表現学科及び川越市立川越高等学校OA部紹介	四	提案理由の説明(小川愛香里議員、横井舞菜議員)	二一
子ども議会議長及び子ども議会副議長選任と子ども議会議長挨拶	四	質疑・討論・採決	二二
.....	四	閉 会(午後三時十五分)	二二
開 会(午後一時四十五分)	五	閉会式(午後三時十五分)	二二
.....	五	子ども議会副議長挨拶	二二
日程第 一 会期決定について	五	教育長講評	二三
.....	五	終 了(午後三時二十分)	二三
日程第 二 会議録署名議員指名について	五	会議の結果	二三
.....	五	二三
日程第 三 一般質問について	五	会議録署名	二四
.....	五	二四
一般質問	六	参考資料(一般質問通告事項書)	二五
.....	六	二五
会派「観光 in 川越」	七	参考資料(各会派の掲示資料)	二七
.....	七	二七
会派「STOP 少子化!!」	七	子ども議会だより	三三
.....	七	三三
会派「緑の川越」	八	三三

川越市市制施行九十周年記念事業 第二回川越市子ども議会会議録

議事日程

平成二十四年十一月十四日午後一時三〇分開議

日程第一 会期決定について

日程第二 会議録署名議員指名について

日程第三 一般質問について

日程第四 決議第一号 ともに歩む未来に関する決議

議場に出席した議員(三七人)

第一番	五十嵐萌香	議員	第二番	古屋 萌音	議員
第三番	早船 優希	議員	第四番	加藤 麻友	議員
第五番	神林 佑奈	議員	第六番	奥隅 佳子	議員
第七番	小谷野吉平	議員	第八番	宮國 結菜	議員
第九番	藤田 優郁	議員	第一〇番	秋田 千聖	議員
第一一番	林 玲奈	議員	第二二番	有本 真衣	議員
第一三番	大関 涼介	議員	第一四番	高橋 伊織	議員
第一五番	小河原 翔	議員	第一六番	伊東 拓音	議員
第一七番	三本松佑花	議員	第一八番	勝間田真衣	議員
第一九番	土屋 佑真	議員	第二〇番	佐藤 大介	議員
第二一番	野口穂乃花	議員	第二二番	殿村 哲	議員
第二三番	須永 克己	議員	第二五番	小川愛香里	議員
第二六番	野澤 一翠	議員	第二七番	置田圭一朗	議員
第二八番	柿島 世佳	議員	第二九番	中谷 充希	議員
第三〇番	吉澤 亨朋	議員	第三一番	柿野留美果	議員
第三二番	白石 聡美	議員	第三三番	座間 謙太	議員

欠席議員(一人)

第二四番 長嶋 舞華 議員

第三四番	小嶋 美華	議員	第三五番	金子 佑亮	議員
第三六番	川口 愛莉	議員	第三七番	加藤 大暉	議員
第三八番	横井 舞菜	議員			

議場に出席した理事者

市長	川合 善明
副市長	風間 清司
副市長	穴戸 信敏
上下水道事業管理者	久都間 益美
政策財政部長	福田 司
総務部長	小川 倫勝
市民部長	木島 宣之
文化スポーツ部長	今井 孝雄
福祉部長	栗原 薫
保健医療部長	水野 典子
環境部長	森 政一
産業観光部長	宇津木 二郎
都市計画部長	藤 條 聡
建設部長	野原 英一
会計管理者	岸田 政明
経営管理部長	牛窪 佐千夫
事業推進部長	飯 島 茂
教育長	新井 孝次

教育総務部長 根岸孝司
 学校教育部長 猪鼻幸正

議場に出席した事務局職員

議会議務局長 岡部 宏
 副事務局長兼議事課長 大河内 徹
 広聴課長 野口 昭彦
 広聴課主任 小久保 辰也

映像記録及び会議録作成協力者

尚美学園大学芸術情報学部情報表現学科二年 関口 宜樹
 同 高橋 沙瑛
 同 疋田 如
 同 松本 清志郎
 同 箕輪 春花
 同 水谷 有貴
 同 秋濱 知輝
 同 一年
 川越市立川越高等学校情報処理科三年 石田 優里
 同 野口 和香奈
 同 二年
 同 長島 いちる
 同 小山田 衣里
 同 国際経済科二年 高山 七響愛

開会式（午後一時三〇分）

野口昭彦広聴課長 只今から、市制施行九十周年記念事業 第二回
 川越市子ども議会の開会式を開催いたします。私は進行を務めさせ

ていただきます、広聴課長の野口でございます。どうぞ、よろしく
 お願いいたします。

はじめに、市長並びに市議会議長から、皆さんに対しまして挨拶
 がございます。それでは、川合市長からお願いいたします。よろし
 くお願いいたします。

市長挨拶

（川合善明市長登壇）

市長 皆さんこんにちは。市長の川合でございます。

本日は、市制施行九十周年記念事業川越市子ども議会にお集まり
 をいただきありがとうございます。

開会に先立ちまして、私から一言ご挨拶申し上げます。

川越市は、大正十一年に埼玉県内で最初に市になり、今年でちよ
 うど九十年になります。

この九十周年という節目に、三十年ぶりに子ども議会を開催でき
 たということは、私といたしましても、誠に喜ばしいことと思っ
 ております。

この子ども議会は、皆さんのように、川越市の未来を担っていく
 子どもたちに、議会の重要性を学んでいただくことや、自分たちが
 暮らしている、川越というまちに関心をもっていただくなどを目的
 に開催いたしました。

これからの川越を創って行く皆様にとって、この議事堂で議会運
 営を体験することや、自分たちが暮らしているまちについて考える
 ことは、とても貴重な経験になることと思います。子ども議会で体

験したことを、未来のために役立てていただければと考える次第でございます。

皆さんのような若い人たちのご意見や、自由な発想に触れさせていただくことを、私もとても楽しみにしておりますので、いろいろなご提案をお聴かせいただければありがたいと思います。

皆さんが準備のための勉強会で、これまで熱心に取り組んできた様子は、担当からもよく聞いております。私たちも真剣に考え、お答えさせていただきます。

川越市がより良くなっていく道を、皆さんと、ともに考え歩んで行く。今日の子ども議会がそんなきっかけになれば幸いであると思っております。

最後に、今日お集りの子ども議会議員の皆さんをはじめ、保護者の皆様、子ども議会の記録作成にご協力をいただいております、尚美学園大学並びに、川越市立川越高等学校の皆様へのお礼を申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

野口昭彦広聴課長 ありがとうございます。

市議会議長挨拶

野口昭彦広聴課長 続きまして、川越市議会の小野澤議長、よろしくお願ひいたします。

(小野澤康弘市議会議長登壇)

小野澤康弘市議会議長 皆さんこんにちは。ご紹介をいただきました、川越市議会議長の小野澤康弘と申します。どうぞよろしくお願

ひいたします。今日は、皆さん、ようこそ議会のほうにおいでいただきました。また、ご苦労さまでございます。只今、川合市長さんよりご挨拶がございましたが、本年は、市制九十周年を迎えまして、その記念として、多くの事業や行事が行われております。今日の、この川越市子ども議会も、市制施行九十周年記念事業の一環として開催されるわけでございます。

さて、皆さんもご承知かと思えますけれども、議会とは、市民から直接選挙で選ばれた議員さんで構成をされております。そして、市民の意思を代表し、決定する合議制の機関というわけでございます。また、私たち市議会議員と同様、直接選挙で選ばれた市長さんは、議会の議決に基づきまして事務事業を進めていく立場でございます。そのようなことから、議会とは、議決機関と呼ばれ、市長は、執行機関と呼ばれているわけでございます。両者は互いに独立し、対等の立場であり、均衡を保ちながら、より良い市政のために、日々活動しております。

今日は、これから子ども議会が開催されるわけでありますけれども、この議事堂を使いまして、本式の議会という形で開催されるわけです。皆さんにとっては大変貴重な体験になるかと思えます。そして、今日の進め方でありませうけれど、一般質問を議事として進めるとお伺いしております。それぞれの当面する問題や、皆さん方の地域においてかわる諸問題などを、討論することは、誠に意義が深いものがあると思えます。

どうか、皆さんの目から見て、思っていることや感じていることを、素直にお話をしていただき、本日のこの子ども議会が意義深いものとしていただき、さらに、この子ども議会を大いに盛り上げていただくよう、私からはお願ひしたいと思います。

終りに、今日この子ども議会を開催されるにあたり、学校の先生方をはじめまして、保護者の皆様、そして関係者の皆様には大変なご尽力いただいたことを、厚くお礼を申し上げます。今日は子ども議会が成功に終わる事をご期待申し上げます、この開会のご挨拶といたします。

皆さん、頑張ってください。

野口昭彦広聴課長 ありがとうございます。

子ども議会議員自己紹介

野口昭彦広聴課長 続きまして、ご出席いただきました、子ども議会議員並びに出席理事者の紹介を行います。まず、子ども議会議員の皆さんから自己紹介をお願いします。自己紹介は議席番号順に行います。自分の席で起立して、大きな声で学校名と名前を言うてください。それでは、第一番から順にお願いします。

(各子ども議会議員起立により自己紹介を行う。)

野口昭彦広聴課長 ありがとうございます。

理事者並びに議会事務局長紹介

野口昭彦広聴課長 続きまして、出席理事者を紹介いたします。

(各理事者広聴課長の点呼に従い、起立により一礼する。)

野口昭彦広聴課長 以上で出席理事者の紹介を終わります。

また、本日は、議会事務局から事務局長の岡部が出席しております。

すので、併せて紹介させていただきます。

(岡部宏事務局長起立により一礼する。)

尚美学園大学芸術情報学部情報表現学科及び川越市立川越高等学校
O A部紹介

野口昭彦広聴課長 なお、先ほど、市長の挨拶にもございましたが、子ども議会の運営にあたりましては、映像記録として、尚美学園大学芸術情報学部情報表現学科の皆さん、また、会議録作成として、埼玉県ワープロ競技大会で団体優勝をいたしました、川越市立川越高等学校O A部の皆さんにご協力をいただいておりますので、この場を借りてお礼申し上げます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

子ども議会議長及び子ども議会副議長選任と子ども議会議長挨拶

野口昭彦広聴課長 それでは、これから、子ども議会を開催します。

議会開会の後、はじめに議長選挙を行うこととなりますが、今回は六月二十三日の勉強会で議長、副議長を選出しておりますので、紹介いたします。

まず、大東西中学校の吉澤亨朋議長、次に、富士見中学校の野口穂乃花副議長、以上の二人をお願いいたします。副議長には後ほど挨拶をお願いいたしますが、まず吉澤議長からご挨拶をお願いいたします。

(吉澤亨朋議長登壇)

吉澤亨朋議長 本日、川越市子ども議会議長を務めさせていただきます。大東西中学校の吉澤亨朋です。私たちは、毎日、先生や家族、地域の皆さんに守られ、安心して勉強、運動に励んでおります。

昨年起こった、東日本大震災にて被災された多くの皆さんが、復興を目指して協力する姿を、新聞の記事やテレビで拝見しました。そこで、何ができるかを、私たち子どもの視線で考え、意見を出し合い、今年の五月より各学校の皆さんと議論を重ね、各会派ごとに本日の川越市子ども議会に向け取り組んできました。

本日の子ども議会が、まちづくりの発展になるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。議長の言葉と代えさせていただきます。

(拍手)

野口昭彦広聴課長 ありがとうございます。ここからは、吉澤議長に進行していただきますので、小野澤議長と議長席を交代していただきます。

小野澤議長ありがとうございます。

(小野澤康弘市議会議長退席)

野口昭彦広聴課長 以上で開会式を終わらせていただきます。

(午後一時四十四分)

開会(午後一時四十五分)

吉澤亨朋議長 出席議員が定足数に達しておりますので、平成二十四年第二回川越市子ども議会は成立しております。

これより開会いたします。

日程第一 会期決定について

吉澤亨朋議長 ただちに会議を開きます。

日程に入ります。

日程第一、会期決定についてを議題とします。

お諮りいたします。

川越市子ども議会の会期を本日より一日間とすることに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

吉澤亨朋議長 全員起立でありますので、川越市子ども議会の会期は、本日より一日間とすることに決定しました。

日程第二 会議録署名議員指名について

吉澤亨朋議長 日程第二、会議録署名議員指名についてを議題とします。

会議録に署名する議員は、

上戸小学校 大関 涼介 議員

高階西小学校 伊東 拓音 議員

東中学校 置田 圭一朗 議員

の三人といたします。

日程第三 一般質問について

吉澤亨朋議長 日程第三、一般質問についてを議題とします。

発言の通告がありましたので、順次、発言をお願いします。

「観光 in 川越」。

(会派「観光 in 川越」登壇)

林玲奈議員 私たちの会派名は「観光 in 川越」です。

私は代表者の泉小学校の林玲奈です。

会派の仲間を紹介します。

中央小学校の五十嵐萌香です。

仙波小学校の古屋萌音です。

月越小学校の有本真衣です。

これから一般質問を行いますので、よろしくお願いします。

有本真衣議員 私たち「観光 in 川越」は、観光客が多い川越だけど、何回も来てもらうには、快い対応が必要だと思ったので、観光について質問しようと考えました。

観光についてみんなで意見交換をしたところ、聞いてみたことがあります。その内容は、川越まつりなどに来た観光客に対する対応は今どういう状況ですか、教えてください。

私たちは、川越市が将来、観光客が何回も来なくなるまちなってほしいと思っています。

五十嵐萌香議員 そのために、川越市観光アンケート調査に、パンフレットスタンドが少ない、ときも知らない人が九十一%と書いてあったので、例えば、この模造紙のように道端にスタンドを設置して、川越市の名所を回れるスタンプリールルートをつくり、ゴールをすると、ときもグッズなどをプレゼントすれば、観光客に喜んでもらったり、ときもを知ってもらえると考えました。

また、観光名所の場所や道がわからない、外国人、市外の観光客も、わかりやすく、観光しやすくなると思いました。

このスタンプリールをして将来はもつとにぎやかな川越になってほしいと考えました。これで私たち「観光 in 川越」の一般質問を終了いたします。(拍手)

(川合善明市長登壇)

川合善明市長 会派「観光 in 川越」の皆さんのご質問にお答えいたします。

観光客に対するの対応ですが、現在、観光案内所といたしましては、川越市内には、川越駅・本川越駅・仲町と三箇所ございます。どの案内所も、便利な場所にあつて、川越を訪れた方へ観光に役立つ情報を提供しています。最近では、外国人観光客も増えているので、英語・中国語・ハンガルのパンフレットを置いたり、まちかどに設置した観光案内板を四か国語表示にしたりしています。

ご質問にある川越まつりのときには、さらに臨時の案内所を設置し、パンフレットの配布や道案内を行っています。

川越市観光アンケート調査にある、パンフレットスタンドが少ない。という意見に対しては、お店などにパンフレットを置いてもらえるよう、協力をお願いしていきたいと考えております。

ときもを知らない人が九十一%という件ですが、ときもの着るみを貸し出すサービスを行っておりまして、その回数が増えてきているので、少しずつ市民の皆さんに知られつつあると感じております。また、ときものイメージ画像は、川越市ホームページからダウンロードして使えるようになっております。今後さらに、ときもを知ってもらうため、提案にありましたスタンプリールのプレゼント用

に、ときもグッズをつくるというのもよいアイデアですので、考えていきたいと考えております。また、そのためには、魅力ある小江戸のまち並みをPRし続けることが必要であると思います。

川越のまち並みをいろいろな角度から楽しんでいただくように、名所をめぐるスタンプラリーをつくるなど、川越の観光を発展させるために、皆様にはいろいろ勉強していただいたのではないかと、感心しながら聞かせていただきました。市といたしましても、小江戸川越の魅力発信など、ご提案のようなことを含め様々な努力をしております。

そのほか、観光客の皆さんに、気持ち良く楽しんでいただけるよう、おもてなしも大切なことだと思えます。子ども議員の皆様も、観光客の方などに、親切に対応してあげるなど、おもてなしの気持ちで協力していただければうれしく思います。

ご提案どうもありがとうございました。

吉澤亨朋議長 これ、「観光 in 川越」の質問を終わります。

次に、「STOP 少子化!!」。

(会派「STOP 少子化!!」登壇)

殿村哲議員 私たちの会派名は「STOP 少子化!!」です。

私は代表者の初雁中学校の殿村哲です。

会派の仲間を紹介します。

富士見中学校の野口穂乃花です。

野田中学校の須永克己です。

名細中学校の柿野留美果です。

鯨井中学校の白石聡美です。

これから一般質問を行いますので、よろしく願います。
柿野留美果議員 私たち「STOP 少子化!!」は、川越市の少子化問題について一般質問をします。理由は、近年、少子化が問題になっているので、それを防止したいと思ったからです。

少子化問題について、会派内で意見を出し合い交換したところ、少子化防止についての案が出ました。この案について説明させていただきます。

この図は、今の川越市のサイクルを表したものです。これを改善させるために、まず保育士が少ないと思い、現在の高齢化を利用して、子ども好きの高齢者の方々にボランティアをしてみようと考えました。これを行う事により、地域の交流もでき良いと思います。

白石聡美議員 それに、子どもの面倒を見る人が増え、待機児童が減るのではないかと考えました。そして、ほかの市から、子連れの人引越して来たりすると、市への税金も増え、保育園の施設を充実されらるると思えました。

最終的には、親が安心して子どもを預けられるため、第二子、第三子と子どもが増え、少子化防止になっていければいいと考えました。

最後に、この案に対して実現可能かなどの、意見を伺いたいと思います。よろしく願います。

これで私たちの一般質問を終了いたします。(拍手)

(栗原薫福祉部長登壇)

栗原薫福祉部長 「STOP 少子化!!」の皆さんのご質問にお答えをいたします。

皆さんには、川越市の将来を考え、少子化防止についてのご提案

をいただきまして、ありがとうございます。

生まれてくる子どもの数が大幅に減っていくことを、少子化といいますが、これには、親となる世代の人口が減ったことや、結婚する年齢が遅くなったことなどが大きく関係していると考えられます。

川越市の人口は、平成二十七年から少しずつ減ると見込まれています。年齢別に見ると、少子化が進む一方で、平成二十七年には、六十五歳以上の人口が二十六%となつて、約四人に一人が高齢者となります。

少子高齢化が進むと、社会の活力が失われ、少ない労働者で医療費や年金などをまかなうことになり、働く世代の負担はますます増えてまいります。

そこで川越市では、少子化の対策のために、平成十七年三月に「かわごえ子育てプラン」をつくり、川越市だけでなく、家庭、学校、地域など社会全体で子育てを支える取り組みを行っています。

今回のご提案のように、子ども好きの高齢者の方々に子育てのボランティアをしてもらうことや、子育てについてのアドバイスをしてもらうことは、子育てを地域で支援するための有効なアイデアであると考えられます。

また、川越市では、保育所に入りたくても入れない児童、待機児童と言いますが、待機児童を減らすために、新しい保育所を開設して保育所の定員を増やすなどの努力をしているところです。

いずれにしても、子育てのしやすいまちを実現することで、子育て中の世代の方が、川越市に引っ越してきてくれることも期待できます。「われらのこと」で、市の税金の安定にもつながると思われれます。今回の貴重な提案をいただきましたけれども、今後も少子化対策、

待機児童対策、そういったものに努めまして、子育てのしやすいまちの実現に努めてまいりたいと考えております。以上です。

吉澤亨朋議長 これですTOP 少子化!!」の質問を終わります。

次に、「緑の川越」。

(会派「緑の川越」登壇)

大関涼介議員 私たちの会派名は「緑の川越」です。

私は代表者の上戸小学校の大関涼介です。

会派の仲間を紹介します。

今成小学校の早船優希です。

名細小学校の加藤麻友です。

広谷小学校の高橋伊織です。

これから一般質問を行いますので、よろしく願います。

早船優希議員 私たち「緑の川越」は、地球温暖化について質問しようと考えました。それは、地球温暖化が進むと、太陽からの熱が、CO₂のために大気の中にもこもり、生物が生きていける温度を超えて、生物が地球からいなくなる、絶滅を防がなければいけない。と思つたからです。

地球温暖化について、みんなで意見を交換したところ、いくつか聞いてみたいことが出てきましたので教えてください。河原の緑は今どういう状況ですか。緑を増やすために、緑の羽募金以外で取り組みをしていることはありますか。教えてください。

高橋伊織議員 私たち「緑の川越」は、生物が地球からいなくなる、絶滅を防ぐために、緑を増やし、地球温暖化を防ぐというようになつてほしいと考えています。

そのために、募金をして、集まったお金で苗を買い、その苗を川の少しはなれた所に植えて、河原の緑化を進めることを提案します。緑化の募金は、観光スポットなどに募金箱を置いて、声かけをすればいいと思います。

そして、将来はもっと緑豊かな川越になってほしいと考えました。

これで私たち「緑の川越」の一般質問を終了いたします。(拍手)
(森政一環境部長登壇)

森政一環境部長 「緑の川越」の皆さんのご質問にお答えいたします。

まず河原の緑の状況についてのご質問ですが、現在、河原を利用した主な緑地として、芝生広場が広がる安比奈親水公園、もともとあった雑木林を活用した池辺公園などの公園や、入間川の堤防沿いにたくさん桜が植えられている桜つつみなどがあげられます。そのほかに、自然の緑がそのままの状態に残っている場所を、緑がなくならないように守っている区域があります。その区域の面積はとて広く約五百ヘクタールもあります。これは東京ドーム約百個分の面積になります。

次に、緑を増やすために行っている、緑の羽募金以外の取り組みについてのご質問ですが、市役所では、川越市が将来、緑が豊かになるように「川越市緑の基本計画」という計画をつくり、緑を増やすための取り組みをしています。

例えば、河原のほかにも学校などの公共施設に木を植えたり、新しく公園をつくったり、今ある林を守ったりしています。

さらに、工場などの大きな建物を建てる時には、木を植えてもらったり、新しく生け垣をつくる時や屋上に木を植えたり、壁を植物

で覆ったりする時に、掛かった金額の一部を補助して、緑を増やすようにしています。

また、昭和五十八年から市民の方々に苗木を配布しています。これまで約七万本の苗木を配布しました。

募金で集まったお金で、川の少しはなれたところに苗を植えるというご提案ですが、川越市は、入間川、小畔川が取り囲むように流れ、ほかに九十九川、新河岸川など多くの川が市内を流れており、苗を植えられそうなところもたくさんあると思います。ですから、河原の緑化のご提案は、とても有意義なものだと思います。皆さんも苗を植えられそうなところ、河原を探してみてください。

次にご提案がありました、緑化の募金の観光スポットなどへの設置についてですが、現在、市役所一階の受付脇と、五階の環境政策課の窓口に、いつも募金箱を置いてあるほか、イベントがある時などに、会場に募金箱を置いて、皆さんに募金に協力していただけるように呼びかけをしています。なお、集められた緑の募金については、市内の学校などの公共施設に木を植えるなどに使われています。

緑は、私たちの心につながるおいや安らぎを与え、地球温暖化を防いだりするなど、私たちの生活に欠かせないものです。また、いろいろな生き物が生きていく場所としても大切なものです。

このようなことから、皆さんの言うとおり、緑を増やすということとはとても大切なことだと思います。また、増やすことも大切ですが、今ある緑を守ることと同じくらい大切なことです。緑豊かな川越市になるように、これからもいろいろな緑に目を向けるようにしてください。以上です。

吉澤亨朋議長 これで「緑の川越」の質問を終わります。

次に、「チームMIKA嬢」。

(会派「チームMIKA嬢」登壇)

小川愛香里議員 私たちの会派名は「チームMIKA嬢」です。

私は代表者の大東中学校の小川愛香里です。

会派の仲間を紹介します。

大東西中学校の座間謙太です。

霞ヶ関西中学校の小嶋美華です。

これから一般質問を行いますので、よろしくお願いします。

座間謙太議員 私たち「チームMIKA嬢」は、商業を盛んにして川越を有名にしたいと考えたので、観光について一般質問をします。

観光についてみんなで意見を交換したところ、いくつか聞いてみたいことが出てきましたので教えてください。

どんな観光名所が川越市にはありますか。海外からの観光客数は何人くらいいるのですか。観光バスはどれくらい運行していますか。また、どのくらいの費用で乗車でき、現在運行しているバスは巡るのにどのくらい時間がかかるのですか。以上のことを教えてください。

私たち「チームMIKA嬢」は、観光名所を増やして、外国人や子どもから大人、私たちのような世代も楽しめるようにして、観光バスをもっと利用してほしいと考えます。

小嶋美華議員 また、県外や外国の方にもたくさん来てもらい、宿泊してもらおうようになってほしいと考えました。

そのために、ポスターなどで新たな川越の魅力を宣伝することや、いままで川越にはなかった、新しい観光名所となる場所をつくること、観光名所をまわるバスの運行本数を増やし、バリエーション豊

かにすることを提案します。

以上のことをして、将来は今よりも、もっと県外、外国の方にとって日本の名所といえは「川越！」といつてもらえるほど有名な川越になってほしいと思っています。

これで私たち「チームMIKA嬢」の一般質問を終了いたします。

(拍手)

(宇津木二郎産業観光部長登壇)

宇津木二郎産業観光部長 「チームMIKA嬢」の皆さんのご質問にお答えします。

まず、川越市の観光名所についてですが、川越がほかのまちに自慢できるものは、何と言っても一番街に数多く残る、蔵づくりの建物でございます。関東地方でこれだけ、土蔵づくりの建築物が集中して残っているまちはございません。

そのほかには、川越市のシンボルである時の鐘や、昔懐かしいお菓子をつくっている菓子屋横丁、川越藩時代の面影を残す川越城本丸御殿、徳川家とのつながりが深い喜多院などがございます。

次に、海外からの観光客についてでございます。これまで、外国人観光客が一番多く訪れていただいた年は平成二十二年で、約四万三千人が川越に来ていただきました。

昨年、平成二十三年は、東日本大震災の影響もありまして少なくなりましたが、約二万五千人の外国人観光客が川越に訪れていただいております。観光アンケート調査した外国人観光客を国籍別で見ますと、台湾、アメリカ、韓国、中国、香港、シンガポールといった順番で、アジア地域から多く来ていただいております。

次に、観光バスについてでございますが、現在、観光スポットを

巡るバスは、川越駅東口からの、東武バスの小江戸めぐりバス、川越駅西口から、イーグルバスの小江戸巡回バスの二路線が運行しております。

観光客が多い土日で見ますと、東武バスは一日に二十三便、イーグルバスは一日に二十七便が運行しております。

料金につきましては、東武バスの日フリー乗車券が三百円、イーグルバスの日フリー乗車券が五百円となっております。東武バスは一周約三十五分で運行しております、イーグルバスにつきましては一周約四十三分で運行されているというところでございます。どちらも、それぞれお店の割引クーポンが付いていたり、ガイドの案内がついていたりして、多くの観光客の方にご利用いただいております。以上でございます。

六戸信敏副市長 「チームMIKA嬢」の議員の皆さんのご提案にお答え申し上げます。

川越市はこれまで様々な観光関係、PR活動を行ってまいりましたが、新たな川越の魅力のPRといたしましては、昨年から「川越きもの日」が誕生いたしましたので、これをPRするポスターの貼り出しを始めました。今後は、川越の魅力を伝える観光PRポスターを、市だけでなく、観光の仕事をしているお店、あるいは会社などに協力して作成していただきたいと考えております。

そのほかにも、松江町二丁目「ございます」「旧山崎家別邸」の庭園の公開を始めましたので、今後は、建物の中も見ていただけるようにしていきたいと考えております。

また、今年の夏には大変多くの方に参加をいただいた「妖怪めぐりナイトツアー」をもっと活発化していただき、川越の伝説・妖怪スポットを観光名所とすることも、観光川越の新たな魅力を付け加

えることになるかと考えております。

観光バスにつきましては、東武バスさんとイーグルバスさんが運行をいただいておりますが、運行本数を増やすことにつきましては、それぞれのバス会社と相談してまいりたいと考えております。ご提案のように、子どもからお年寄りまで楽しむことができる観光所をつくることで、これまで以上に多くの皆さんに川越に訪れていただけるようになるかと考えております。また、宿泊客を増やすということは、川越市の大きな課題の一つであり、川越市の現状を良く把握した貴重なご意見だと考えております。

皆さんが、川越を有名にしたいという思いで、一生懸命考えていただいたことは、非常にありがたいことであると考えております。私たちも、それに応えられるよう、外国人の方だけでなく、より多くの方に宿泊もしていただけるよう、新しい観光名所づくりに励んでまいりたいと、また、一日楽しめる観光地として、小江戸川越をさらに魅力あるまちにしていきたいと考えております。

大変、参考になる貴重なご提案でございます。ありがとうございました。

吉澤亨朋議長 これでは「チームMIKA嬢」の質問を終わります。

次に、「もっと広げよう姉妹都市」。

(会派「もっと広げよう姉妹都市」登壇)

伊東拓音議員 私たちの会派名は「もっと広げよう姉妹都市」です。

私は代表者の高階西小学校の伊東拓音です。

会派の仲間を紹介します。

高階小学校の神林佑奈です。

高階南小学校の奥隅佳子です。

高階北小学校の小河原翔です。

これから一般質問を行いますので、よろしくお願いします。

小河原翔議員 私たち「もっと広げよう姉妹都市」は、川越市の姉妹都市について一般質問をします。理由は海外の文化を取り入れた川越らしさのあるまちをつくりたいと思ったからです。

川越の姉妹都市について、いくつか質問しますので教えて下さい。川越の姉妹都市とどのように交流をしていますか。また、海外から取り入れた文化はありますか。教えてください。

私たちは、ふだんあまり姉妹都市の人と会ったり、交流したりしていません。だから、たとえば私たち川越に住んでいる小学生、中学生が、国内でも、国外でも川越のまちを紹介し、一緒にまわればそれだけでも交流になるし、友達になることもできると思います。神林佑奈議員 さらに、川越の姉妹都市の姉妹都市とも交流する。つまり、オッフェンバッハ市やセーレム市の姉妹都市とも結び付くことで、さらに広い文化が交換できます。これにより、川越の歴史の中に、外国の歴史が入ることで、川越はより良いまちになると思います。そしていつかは、いろいろな国の人がたくさんいる新しいまちをつくり、外国の店、日本の店を並べれば、たくさんの方が利用できる明るい川越になると思います。

国境を越えた新しい取り組みは面白いとも思うし、いいまちに、いい川越になってくれると思います。

これで、私たち「もっと広げよう姉妹都市」の一般質問を終了いたします。(拍手)

(今井孝雄文化スポーツ部長登壇)

今井孝雄文化スポーツ部長 「もっと広げよう姉妹都市」の皆さんのご質問にお答えいたします。

川越市には姉妹都市と友好都市が併せて六都市あります。日本では福島県棚倉町、福井県小浜市、北海道の中札内村、外国ではドイツのオッフェンバッハ市、アメリカのセーレム市、フランスのオートタン市があります。

それぞれの姉妹都市との交流についてですが、訪問団と言って、市役所の人たちや川越に住んでいる人たちが、それぞれの都市へ行ったり、川越に来てもらったりしています。

子どもたちの交流では、川越市内の中学校二十二校の一年生から、各校の代表二十二名の生徒たちが、夏休みに北海道の中札内村に行き、農家に泊まったり、中札内村の中学一年生とキャンプをしたりしています。冬休みには中札内村の中学一年生が川越に来て、楽しく交流をしています。

また、中学三年生では、同じように各校の代表二十二名が、夏休みにドイツのオッフェンバッハ市、あるいはアメリカのセーレム市を順番で訪問しています。フランスのオートタン市に行ったこともあります。また、少年の翼という行事で中札内村も訪問しています。

参加した子どもたちはみんないろいろな経験をして、ひと回りもふた回りも大きくなって帰ってくるので、皆さんもぜひ、参加してください。

次に、海外から取り入れた文化についての質問ですが、姉妹都市を訪問した中学生たちの中には、大人になって海外で活躍している人たちもいます。海外を訪問した人たちがそれぞれ体験したことや感じたことを、他の人たちに話をしてあげたり、海外の文化を広げようがんばって活動したりしていくことで、川越市に住んでいる

人たち一人ひとりに、海外の文化の理解が広まり、川越市に海外の文化の良い点を取り入れられるようになってくると思います。

皆さんはあまり姉妹友好都市と交流することがないので、小学生、中学生が川越のまちを紹介し、一緒にまわると交流になり、友達もできると提案がありました。とてもよい提案だと思います。大人だけでなく、皆さんにも参加してもらおうことで、姉妹友好都市の皆さんともどんどん仲良くなれると思います。また、姉妹友好都市だけでなく川越市に来てくれる人たちに同じように川越を紹介したり、親切にしたりすることで、たくさんの人たちに川越を好きになってもらえると思います。

また、姉妹都市の姉妹都市とも交流することで、さらに広い文化が交換できるという提案も良い提案だと思います。川越市では今年の十月十九日に「姉妹友好都市サミット2012」という行事を行いました。ここでは、川越市に姉妹友好都市の人たちにきてもらって、「未来のまちづくり 子どもたちにつなげていきたいこと」をテーマに意見を交換しました。川越市の姉妹友好都市が、他の姉妹友好都市の意見を聞くことができ、友好都市同士の仲が良くなり、友好都市の輪が広がったと思います。

皆さんは、これから大人になっていくわけですが、交流の輪を積極的に広げて、海外の文化を体験したり、いろいろな国の人たちと友達になったりすることで、ぜひ世界で活躍する人になれるようにがんばっていただきたいと思います。以上です。

吉澤亨朋議長 これまで「もっと広げよう姉妹都市」の質問を終わります。

一般質問の途中ではありますが、ここで、副議長に交代いたします。

ご協力ありがとうございました。

暫時休憩いたします。

午後二時二十二分 休憩

午後二時三十五分 再開

野口穂乃花副議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

ここから私、富士見中学校の野口穂乃花が議事を進めます。よろしくご協力をお願いします。

一般質問を続行いたします。「小江戸 New Way」。

(会派「小江戸 New Way」登壇)

置田圭一朗議員 私たちの会派名は「小江戸 New Way」です。

私は代表者の東中学校の置田圭一朗です。

会派の仲間を紹介します。

城南中学校の野澤一翠です。

南古谷中学校の金子佑亮です。

高階西中学校の川口愛莉です。

これから一般質問を行いますので、よろしくお願いします。

金子佑亮議員 私たち「小江戸 New Way」は、川越の名物である、サツマイモについて一般質問をします。理由は、江戸時代に盛んにつくられていたサツマイモが、今、川越の名物になっていることが気になったからです。

サツマイモについて、二つの質問をしますので教えてください。サツマイモを名物にしているのに、なぜ、あまり多く栽培をされていないのですか。福原地区が、サツマイモを川越の名物にしたのは

なぜですか。教えてください。

今や、川越はサツマイモのイメージが定着しているのだから、もっとサツマイモを使って、もっとサツマイモをつくってほしいと思いました。そこで私たちの会派は、サツマイモをメインとした「さつまいもタウン」という観光名所を福原地区につくってほしいと考えました。

野澤一翠議員 「さつまいもタウン」には、遠くから来てくれた方から、地元の方まで、お年寄りから、小さい子どもまで、幅広い年齢層が楽しめるように、たくさんの施設を考えました。

まず、「おいも博物館」と言う、サツマイモの歴史や、種類などが学べる建物があり、サツマイモ料理が作れるクッキング教室、実際に自分たちで収穫できるサツマイモ畑があります。そのほかにも川越にちなんだ料理が食べられるフードコートと、家に帰っても楽しめるように、サツマイモを使った物を取りそろえた、おみやげ屋さんをつくれたらいいと思っています。そして、川越市のマスコミキャラクターとときも定期的に「さつまいもタウン」に来るという企画も考えています。

将来には、こんな理想的な「さつまいもタウン」が、川越市内にできてほしいと思っています。

これで、私たち「小江戸 New Way」の一般質問を終了いたします。(拍手)

(宇津木二郎産業観光部長登壇)

宇津木二郎産業観光部長 「小江戸 New Way」の皆さんの「質問にお答えします。

まず、サツマイモを名物としているのに、あまり多く栽培されて

いない理由についてでございます。ほかの野菜栽培とくらべてサツマイモ栽培だけですと一年間の収入があまり得られないのが理由でございます。

サツマイモは、五月に苗を植えて十月に収穫をします。年一回の収穫となります。加えて、肥料のバランスの関係で、サツマイモを植えた畑では、つぎにほかの野菜はすぐにはつくれないということでございます。

ダイコンやホウレンソウなどのほかの野菜は、同じ畑を使って一年間に二、三種類をつくることのできるもので、それだけ収入が多くなります。このため、昭和三十年代までは、多くの農家でサツマイモをつくっていましたが、次第に収入を得られる、ほかの野菜をつくるようになっております。

次に、福原地区がサツマイモを川越の名物にした理由についてでございます。福原地区や大東地区の一部でサツマイモがつけられたのは、江戸時代からで、当時、江戸では焼き芋屋さんが大流行したということでございます。

福原地区や大東地区の畑は水はげがよく、サツマイモづくりに向いていたので、質の良いおいしいサツマイモがつけられるようになりました。また、当時、今福に住んでおりました赤沢仁兵衛という人が、サツマイモをたくさんとれるように工夫をしたことも名物にした理由でございます。

ちょうどその頃は、今のようにトラックがなかったので、重く、陸路での運搬に向かないサツマイモを、川越から江戸まで新河岸川を利用して、舟でたくさん運ぶことができたことから、「栗(九里)より(四里)「うまい十三里」といわれて、川越のサツマイモが有名になったものがございます。

また、戦争中や戦後の東京では食べるものが少なかったため、東京の人たちが川越まで食料を求めにやってきて、サツマイモをたくさん買っていったということもございます。

現在、サツマイモの生産が少なくなる中で、福原地区がサツマイモの産地として有名になっているのは、イモ掘りの観光農園があるからでございます。イモ掘りの観光農園は、昭和三十年代後半から福原地区の中台を中心に盛んになって、今も行われております。

イモ掘り体験は大人も子どもも楽しめることから、昨年は市内外から約三万七千人の方にご来場いただいたとでございます。以上でございます。

(川合善明市長登壇)

川合善明市長 会派「小江戸 New Way」の皆さんのご提案にお答えいたします。

サツマイモをテーマとした「さつまいもタウン」という構想は、なかなか楽しい発想だと思いつながら聞かせていただきました。

以前は、市内に、これは民間の方がつくったものでございますが、サツマイモの資料館というものがございましたが、残念ですが今はなくなってしまいました。また、サツマイモの収穫体験ができることと、サツマイモ料理が食べられるところ、サツマイモのおみやげが買えるところは、今も市内にあります。これはそれぞれ場所が離れているので、一カ所に集まっている「さつまいもタウン」はなかなかすばらしい考えだと思います。

地域のお年寄り子どもたちの年齢を超えた交流の場となり、サツマイモを通して市の内外の方々との交流もでき、楽しい仲間がつくれて、さらにサツマイモについての学習もできる「さつまいもタ

ウン」は、農業や観光の振興に留まらず、地域の活性化にもつながる構想であると思います。

農業や観光などの振興は、現在、私も力を入れているところでございますが、「さつまいもタウン」の提案は、今後の市の取り組みに活かしていきたいと思えます。以上です。

野口穂乃花副議長 これで「小江戸 New Way」の質問を終わります。

次に、「明るく楽しい町川越」。

(会派「明るく楽しい町川越」登壇)

宮國結菜議員 私たちの会派名は「明るく楽しい町川越」です。

私は代表者の霞ヶ関東小学校の宮國結菜です。

会派の仲間を紹介します。

霞ヶ関北小学校の小谷野吉平です。

霞ヶ関西小学校の三本松佑花です。

川越西小学校の勝間田真衣です。

これから一般質問を行いますので、よろしく願います。

勝間田真衣議員 私たち「明るく楽しい町川越」は、時の鐘について質問しようと思いました。

理由は、テレビで時の鐘のことを「意外と小さいな」などと言われていたし、全国の観光地に比べたらあまり有名ではない方だから、もっと有名になってほしいと思ったからです。

時の鐘についてみんなで意見を交換したところ、聞いてみたいことがでてきましたので教えてください。時の鐘をメインにしたイベントを企画したことや、実行したことはありますか。教えてください。

い。

私たち「明るく楽しい町川越」は、時の鐘のまわりが、十年後にはもっとにぎやかなまちになってほしいと考えました。

そのために、時の鐘をメインにした「時の鐘祭り」を提案します。

小谷野吉平議員 「時の鐘祭り」は、家族で参加するリレーやクイズを企画して、子どもから大人まで、楽しめるお祭りにします。そして、特別な日にはシークレットイベントも企画します。

また、時の鐘のグッズを考えて、時の鐘のまわりで売ることも提案します。

「時の鐘祭り」で時の鐘が有名になれば、祭りに参加する観光客や、時の鐘グッズを買いに来る観光客の、立ち寄る場所が増えるので、今よりも、もっとにぎやかなまちになると思います。

将来は、全国の誰もが知っている時の鐘を中心に、もっとにぎやかで、明るく楽しい川越になってほしいと思います。

これで、私たち「明るく楽しい町川越」の一般質問を終了いたします。(拍手)

(宇津木二郎産業観光部長登壇)

宇津木二郎産業観光部長 「明るく楽しい町川越」の皆さんのご質問にお答えします。

時の鐘をメインにしたイベントを企画したことや、実行したことについてでございます。環境省の残したい日本の音風景一〇〇選」に選ばれている時の鐘は、一日四回、毎日、鐘の音を響かせております。時の鐘をメインとしたイベントとしましては、八月の原爆の日、原爆死没者の冥福と平和を祈るため、原爆投下時刻に鐘を鳴らしているほか、年末年始の行事として除夜の鐘では、百八人の方

が交替して登っていただきまして鐘を撞いています。

このほかには、大きなイベントは行っておりません。

最近、西武新宿線の本川越駅に「時の鐘と蔵のまち」という副駅名がつけました。観光客へのアピールに役立っていくと思います。

時の鐘がもつと有名になるためには、行政だけでなく、まちの人たちの協力が欠かせません。今後、時の鐘のことを、もっとたくさんの人に知ってもらえるような事業を、まちの人たちの協力を得ながら、実施していきたいと考えております。

ご提案いただいた「時の鐘祭り」というのも、これまでにないユニークな提案だと思います。実際に時の鐘を直接見に来ていただくいいきっかけになると思います。

また、時の鐘グッズについては、川越市マスコットキャラクター、ときもとタイアップをすることで、時の鐘と、ときもの両方を知ってもらえることにつながるので、今後考えていきたいと思っております。

今回の提案をするために、時の鐘についてたくさん勉強されたことと思います。貴重なご提案をありがとうございます。ご提案は、今後の観光行政で活かしていきたいと考えております。以上でございます。

野口穂乃花副議長 これで「明るく楽しい町川越」の質問を終わります。

次に、「School!」ときも。

(会派「School!」ときも「登壇」)

横井舞菜議員 私たちの会派名は「School!」ときもです。

私は代表者の川越西中学校の横井舞菜です。

会派の仲間を紹介します。

大東西中学校の吉澤亨朋です。

霞ヶ関中学校の柿島世佳です。

霞ヶ関東中学校の中谷充希です。

霞ヶ関西中学校の加藤大暉です。

これから一般質問を行いますので、よろしく願います。

中谷充希議員 私たち「Schoolー!ときも」は、楽しい行事や、授業の増加について一般質問をします。理由は、児童、生徒が授業への興味を持つことが出来る行事を増やしたほうがいいと思っただけです。

楽しい行事や授業の増加について、いくつか質問しますので教えてください。川越市内では、生徒が楽しめる行事、おもに文化祭等を行っている学校はいくつありますか。その中でどのようなことをしていますか。教えてください。

私たちの会派では、専門的な授業を取り入れることで、様々な知識が身につくし、より楽しく学習できるように思うので、例えば、英語の授業の一環として、外国人の先生との交流を増やし、理科の授業内での化学実験を増やすことや、授業内でのさまざまな知識をいかして文化祭などの行事を取り入れて実践する場を増やすことを提案します。

加藤大暉議員 次に学校の設備について一般質問をします。理由は、夏場での熱中症や、日常生活で、トイレに行けない人が困らない環境をつくりたいと思っただけからです。

そこで、学校の設備について質問しますので教えてください。この市内での熱中症対策や学校の環境はどうなっていますか教えてください。

私たちの会派からは、熱中症対策として、多目的室や体育館など、人の集まる場所に冷暖房を取り付けること、いつ起こるか分からない不安なので、地震対策をすること、それに加え、臭い・汚い・暗い・怖い・壊れていると言った、トイレの5Kのせいでトイレに行けず、病気になることを防ぐため、そして感染症を防ぐために清潔なトイレ環境をつくることを提案します。

これで、私たち「Schoolー!ときも」の一般質問を終了いたします。(拍手)

(猪鼻幸正学校教育部長登壇)

猪鼻幸正学校教育部長 会派「Schoolー!ときも」の皆さんのご質問のうち、生徒が楽しめる行事、おもに文化祭などを行っている学校はいくつありますか、その中でどのようなことをしていますかというご質問にお答えいたします。

子ども議会の皆さんも知っているとは思いますが、小学校で児童が楽しめる行事には、運動会、音楽会などがあります。また、文化祭という呼び名で、四年生以上が、総合的な学習の時間の学習成果を、発表する活動を行っている学校が、一校あります。なお、文化祭という呼び方はしておりませんが、多くの小学校では、縦割りグループによる交流会を行い、輪投げ、風船バレー、迷路など、子どもたちが考えたお店を出店し、協力し合いながら、楽しんでおります。次に、中学生が楽しめる行事ということですが、大きなものでは体育祭や合唱祭がございます。

また、文化祭という呼び方で、文化部の発表を行ったり、姉妹都市交流に参加した生徒が報告を行ったりしている学校が、中学校では四校あります。そのほかに市内九校では、体験学習講座として、

地域の方々を講師に招き、うどん打ち、着付け、ヨガ、グラントゴルフなど、生徒が希望の講座を選んで体験するとともに、講師の方々と交流も行っております。

このように、市内の全小中学校では、児童生徒が楽しめる行事を工夫して行っております。以上です。

(根岸孝司教育総務部長登壇)

根岸孝司教育総務部長 続きまして、学校の設備に関する質問について、お答えをいたします。

熱中症対策としては、平成十八年度から二十年度にかけて、財政的なことも考えて、各教室に扇風機を二台ずつ設置いたしました。エアコンは、保健室やコンピュータ室などに設置しております。また、校舎の南側に、へちまやゴーヤを植えて日陰をつくる「緑のカーテン」を設置したりするなど、夏場の熱さを和らげる対策を行っています。

これらに併せて、皆さんには、自宅から水筒を持参してもらい、こまめに水分補給をしてもらっているところです。

ご提案いただきました、人の集まる場所にエアコンを取り付けることは良いことだと思います。多目的室や特別教室、体育館などに現在エアコンがない学校がほとんどですが、例えば、夏場でも窓を閉め切って使用している音楽室などは、今後、設置をしていきたいと考えています。

学校の地震対策については、今年度で補強工事が終了します。川越市内の全ての学校が、大きな地震が来ても安全なので、安心して学校へ通ってください。

学校のトイレは、臭かったり汚れたりしているので、清潔なトイレ

環境をつくるという提案がありました。

多くの学校では、建設されてから長い期間が経過しているため、壊れたり、汚れたりしています。

今までは、地震に備えるための工事を優先して行ってきましたが、来年度からは、きれいで使いやすい学校にするための工事を行っていきたく考えています。

この工事の中で、きれいで、明るくて、うれしくなるようなトイレへ直していきたく思っています。

(新井孝次教育長登壇)

新井孝次教育長 「School!ときも」の皆さんのご提案にお答えをいたします。

まず、外国人の先生との交流を増やすというご提案につきましまして、生きた英語に触れることの大切さに目を向けた点が、素晴らしいと思います。川越市においては、市内の小・中・市立高等学校及び特別支援学校に英語指導助手(AET)を派遣しております。ぜひ、積極的に交流する機会をもってください。

次に、化学実験を増やすというご提案につきましては、先日、京都大学IPS細胞研究所長の山中伸弥教授が、ノーベル医学生理学賞を受賞され、科学技術に対する関心が高まってきております。このような中、小さい頃から、実験を通して、理科に対する興味関心を高めていくことの大切さに目を向けた点が、優れていると思います。私たちも授業の充実に力を入れていきますので、皆さんも、一生懸命勉強に励んでください。

また、授業内での様々な知識を生かして文化祭などの行事を取り入れて実践する場を増やすという提案でございます。学んだことを

活かし、自ら考えて、自ら行動する経験は、将来に向けて大きな力となります。このような経験の場を増やすことの大切さに目を向けた点が、大変素晴らしいと思います。今後も、学習に意欲的に取り組み、楽しく充実した学校生活を送ってください。

続きまして、学校施設に関するご提案についてでございますが、学校に通学している皆さんが、学校施設について、どのように感じているか、率直な感想を聞くことができ、大変うれしく思うと同時に、学校施設の課題は、難しい課題であると、改めて感じました。

また、具体的な提案も考えていただき、自分たちの学校をより良くしたいという強い気持ちが伝わってまいりました。

学校は、皆さんにとっては、勉強する場所だったり、先生や友人と思い出をつくる場所だったりすると思います。また、地震が起きた場合には、地域の方々の避難場所としても利用される大切な施設です。

今、皆さんが通っている学校は、友達や兄弟、姉妹だけでなく、昔は、お父さんお母さんも同じ学校に通っていたり、将来は、皆さんの子どもが、同じ学校へ通うかもしれない、長い長い歴史のある学校であります。

これからも、皆さんには、学校を大切に使うてもらい、充実した学校生活を送れるよう、私たちががんばって、学校を良くしていきたいと思っています。以上です。

野口穂乃花副議長 これです「School!ときも」の質問を終わります。

次に、「川越future」。

(会派「川越future」登壇)

佐藤大介議員 私たちの会派名は「川越future」です。

私は代表者の砂中学校の佐藤大介です。

会派の仲間を紹介します。

川越第一中学校の藤田優郁です。

東中学校の秋田千聖です。

高階中学校の土屋佑真です。

これから一般質問を行いますので、よろしくお願いします。

秋田千聖議員 私たち「川越future」は、川越市内を循環するシャトルバスの現状について質問します。理由は、どんな世代の人たちが多く使っているのか、また、あまり使っていない人はなぜ使っていないのか知りたいからです。

シャトルバスの現状について、いくつか質問しますので教えてください。シャトルバスはいつから運行がはじまったのですか。一日にどのくらいの人に乗っているのですか。一日にどれくらい同じルートを周っているのですか。この三つを教えてください。

私たちは、シャトルバスを利用する人があまり多くないから、利用する人を増やそうと思っています。そのために私たちが考えたことは、車体や車内のデザインや色を可愛くしたり、目立つようなものに変えるといいと思います。あと、車内に音楽を流したり、一日の本数を増やすのもいいと思います。そして、どの時間帯でもたくさんの方が乗ってくれるといいと思います。

藤田優郁議員 デザインは、見た人を引きつけるようなデザインにすると思います。川越市民の皆さんにそのデザインを考えてもらうのも一つの手だと思います。

音楽は、それぞれの世代の人たちが乗る時間帯を予想して流すの

がいいと思います。例えば、高齢者の方たちが乗りそうな昼頃は演歌等を流して、学生の方たちが乗りそうな夜はみんな知っている歌を流すのがいいと思います。

本数を増やすことは、その分たくさんの人たちが乗ってくれることにつながると思います。

私たちは、この提案で、今よりもっと人が乗ってくれることを望んでいます。

これで「川越 future」の一般質問を終わりにします。(拍手)
(藤條聡都市計画部長登壇)

藤條聡都市計画部長 「川越 future」の皆様のご質問にお答えいたします。

市内循環バス、川越シャトルは、平成八年三月二十六日から運行を開始いたしました。今年で十七年目を迎えております。

一日当たりの利用者ですが、平成二十三年度は、一、一一六・一九人となります。平成二十年度以降、千人を超える利用者数となります。

川越シャトルには全部で十九の路線がありますが、そのうち毎日運行している路線が十三で、残りの六路線については、一日おきに運行をしております。

ですが、一日に運行される路線は全部で十六になり、これを十二台のバスで受け持っています。一台のバスがいくつかの路線を運行しますので、利用者数などを参考にして、路線ごとの運行回数を決めております。

川越シャトルの運行回数は、一日百五十便となりまして、最も運行回数が多い路線は、往復各十便ずつ、合計二十便運行しています。

最も少ない路線は一日当たり三便となっております。以上です。

(風間清司副市長登壇)

風間清司副市長 「川越 future」の皆様のご提案にお答えいたします。

市内循環バス、川越シャトルにつきましては、素晴らしいご提案をいただき、誠にありがとうございます。

市といたしましても、約一億六千五百万円の経費をかけて運行しておりますので、川越シャトルの利用者数を増やすことを、最も重要な目標にしております。「川越 future」の皆様のご提案を興味深く聞かせていただいたところでございます。

今回のご提案には、車体や車内のデザインを可愛らしく目立つようなデザインにしたりしてはどうか、というものがありません。

担当の職員に聞きましたところ、皆さんが今回の一般質問をまとめる議論の中で、「今のシャトルバスのデザインは可愛らしくないから、乗りたいと思わない。」というような意見があったそうです。

平成八年三月に川越シャトルの運行を開始する際、車体のデザインをどうするかを検討いたしました。その際、川越のまち並みに合う色を基調とし、川越を象徴するようなデザインを入れることになりました。現在の川越シャトルのデザインがそのようなことでございました。私にとつては、すっかり馴染みのものになってきたと考えていたわけですが、皆さんのような若い方の感覚ではあまり評判がよろしくないということが分かりました。

今回、熱心な議論をしていただいて、このような提案をいただきましたので、皆さんの世代にも、乗ってみたいと言っていただけるようなデザインのことを、たとえばデザインの募集なども含め、ぜ

ひ実現させたいと思っております。その際には、併せて車内に音楽を流すことも検討していきたいと思っております。

いずれにいたしましても、皆さんも含め、より多くの方に川越シヤトルを利用していただけるように、今後とも改善に努めていきたいと考えております。

親しみやすさや、本数が多くて利用しやすい、ということとは本当に大事なこととなりますので、ぜひ「川越 future」の皆さんも、また何か気付いたことがありましたら、今後、もしどこ指摘いただければと思います。皆さんの新鮮な感覚を期待しております。難しい問題に着目して、その解決策を一生懸命考えていただき、さらに、大変参考になるご提案をいただきましたことにお礼申し上げます。ありがとうございます。以上でございます。

野口穂乃花副議長 これでは「川越 future」の質問を終わります。

以上で全会派の質問は終わりました。これをもって一般質問を終わります。

日程第 四 決議第 二号 ともに歩む未来に関する決議

野口穂乃花副議長 日程第四、決議第二号、ともに歩む未来に関する決議を議題とします。

(大河内徹書記 朗読)

決議第二号

ともに歩む未来に関する決議

ともに歩む未来に関する決議を別紙のとおり決議する。

平成二十四年十一月十四日提出

提出者	大東中学校	小川 愛香里
同	川越西中学校	横井 舞菜
賛成者	泉小学校	林 玲奈
同	高階西小学校	伊東 拓音
同	霞ヶ関東小学校	宮國 結菜
同	上戸小学校	大関 涼介
同	初雁中学校	殿村 哲
同	東中学校	置田 圭一朗
同	砂中学校	佐藤 大介

提案理由の説明(小川愛香里議員、横井舞菜議員)

野口穂乃花副議長 提案理由の説明をお願いします。

(小川愛香里議員、横井舞菜議員登壇)

横井舞菜議員 決議第二号、ともに歩む未来に関する決議、提案理由の説明を申し上げます。なお、決議案を朗読いたしますので、よろしく願います。

ともに歩む未来に関する決議(案)

私たちは、九十周年を機に、次の十年、さらにその先の未来とともに歩んでいくために、次のことを心がけていきます。

小川愛香里議員 一 毎日楽しく学校に行き、笑顔あふれる環境をつくります。

二 マナーを守り、いつまでも続くような人間関係を築きます。

三 人のためになる活動を自主的に行動します。

四 川越の歴史や文化を受け継ぎ、これからも守っていきます。

五 知識・礼儀・判断力を身につけ、どんな困難も自分の力で乗り越えられるよう、一生懸命勉強します。

右 決議します。

平成二十四年十一月十四日

川越市子ども議会

以上をもって、提案理由の説明といたします。よろしく願います。

野口穂乃花副議長 提案理由の説明は終わりました。

質疑・討論・採決

野口穂乃花副議長 これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

質疑なしと認めます。質疑を終わります。

討論に入ります。討論はありませんか。討論はありませんので、これより本件の採決を行います。

本件を原案どおり可決することに、賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

野口穂乃花副議長 全員起立でありますので、本件は原案どおり可決することに決定いたしました。

閉 会

野口穂乃花副議長 以上をもって川越市子ども議会の議事全部を終わりました。よって、これをもって会議を閉じます。

閉会いたします。

午後三時十五分 閉会

閉会式(午後三時十五分)

野口昭彦広聴課長 以上で第二回川越市子ども議会は全部終了いたしました。これから閉会式を行います。

子ども議会副議長挨拶

野口昭彦広聴課長 最初に、子ども議会の野口副議長からご挨拶をお願いいたします。

(野口穂乃花副議長登壇)

野口穂乃花副議長 今日まで、子ども議会を開催するにあたり、たくさんの方々にご尽力いただきました。この様な市議会の仕組み、運営などを実際に体験し、勉強する機会を与えてくださり、ありがとうございました。今日の議会で、仲間と勉強してきた成果を出せたと思います。

私は、今回の経験により、川越の良さを改めて感じました。自分たちの暮らす、地元の川越のまちを改めて、深く大きな視点で考えることができました。市制施行九十周年を迎えた、歴史あるこのまちですが、これから十年後、私たちが大人に成長し、百周年を迎えた時、川越のまちも、もっとより良く成長、そして進化して行ってもらいたいと願います。

市長様をはじめ、市役所の皆様方、議員の皆様、本議会を無事に終えることができましたことを、心より御礼申し上げます。副議

長の挨拶に代えさせていただきます。(拍手)

野口昭彦広聴課長 どうもありがとうございます。

教育長講評

野口昭彦広聴課長 続きまして、新井教育長から講評をお願いいたします。

(新井孝次教育長登壇)

新井孝次教育長 教育長の新井でございます。子ども議会議員の皆さん、本当にお疲れ様でした。

講評に入る前に、個人的なことで恐縮ですが、私が中学校の教員をしているとき、担任した生徒のお子さんが今日議長をして、非常に時の流れを感じますと同時に、大変貴重な体験というか、素晴らしい議会だということ、うれしく思います。

それでは、子ども議会議員の皆さんからの多くのご提案をいただいたことへのお礼と、今後の皆さんの活躍を期待して、講評を申し上げます。

本日、開催されました、この子ども議会は、市制施行六十周年以来、三十年ぶりの開催になります。

川越市の本物の議事堂で発言することは、とても緊張もしたと思えますが、どの会派の質問も、大変、立派だったと思います。

今回、皆さんが勉強してきた内容は、皆さんが暮らす川越市についてです。とても、難しい内容もあったと思いますが、それだけ重要な問題でもあります。

これまでの勉強会で、この重要な問題を、皆さんが意見を出し合

い、みんなの意見を一つにまとめ上げる作業に、一生懸命取り組んでいた様子、同行した職員からもよくお話を聞いております。本当に、皆さん良く頑張ったと思います。

子ども議会の経験はもちろんのこと、自分たちが暮らす地域について考えたことや、一緒に勉強した仲間が一生の宝になりますので、ぜひ、将来に活かしてほしいと思います。

また、この子ども議会を進行していただいた正副議長さんも、しっかりと進行されており、立派にその大役を果たせたと思います。

最後に、「ともに歩む未来に関する決議」でありませんが、未来に向けた、皆さんの率直な思いや意気込みを感じることができる、素晴らしい決議文だと思います。今回、決議した内容を心がけ、楽しく、元気に、充実した学校生活を送ってください。

皆さんの未来、将来にわたっての活躍を心から願って、私からの講評といたします。ありがとうございました。

野口昭彦広聴課長 どうもありがとうございました。以上を持ちまして閉会式を終わります。

午後三時二十分 終了

会議の結果

日程第 四 決議第 二号 とともに歩む未来に関する決議

原案可決

署 名

以上の会議の正当なことを証するため、議長、副議長並びに署名議員3名が署名する。

川越市子ども議会議長	吉 澤 亨 朋
同 副議長	野 口 穂乃花
署 名 議 員	大 関 涼 介
同	伊 東 拓 音
同	置 田 圭一朗

一般質問通告事項書

順序	会派名及び議員名	要 旨	掲載ページ
1	観光 i n 川越 五十嵐 萌香(中央小学校6年) 古屋 萌音(仙波小学校6年) 林 玲奈(泉小学校6年) 有本 真衣(月越小学校6年)	観光客が何回も来たくなるまちになってほしい。	5～
2	S T O P 少子化！！ 殿村 哲(初雁中学校2年) 野口 穂乃花(富士見中学校2年) 須永 克己(野田中学校1年) 柿野 留美果(名細中学校2年) 白石 聡美(鯨井中学校1年)	少子化が問題になっているので、それを防止したい。	7～
3	緑の川越 早船 優希(今成小学校6年) 加藤 麻友(名細小学校6年) 大関 涼介(上戸小学校6年) 高橋 伊織(広谷小学校6年)	生物が地球からいなくなる「絶滅」を防ぐために、緑を増やし、地球温暖化を防ぎたい。	8～
4	チームM I K A 嬢 長嶋 舞華(福原中学校1年) 小川 愛香里(大東中学校2年) 座間 謙太(大東西中学校1年) 小嶋 美華(霞ヶ関西中学校2年)	観光名所を増やして、外国人や子どもから大人、私たちのような世代も楽しめるようにして、観光バスをもっと利用してほしい。 県外や外国の方にもたくさん来てもらい、宿泊してもらってほしい。	9～
5	もっと広げよう姉妹都市 神林 佑奈(高階小学校6年) 奥隅 佳子(高階南小学校6年) 小河原 翔(高階北小学校6年) 伊東 拓音(高階西小学校6年)	交流を広げて、海外の文化を取り入れた川越らしさのあるまちをつくりたい。	11～
6	小江戸 New Way 野澤 一翠(城南中学校1年) 置田 圭一朗(東中学校2年) 金子 佑亮(南古谷中学校1年) 川口 愛莉(高階西中学校2年)	川越はサツマイモのイメージが定着しているのだから、もっとサツマイモを使ってほしい。もっとサツマイモをつくってほしい。	13～

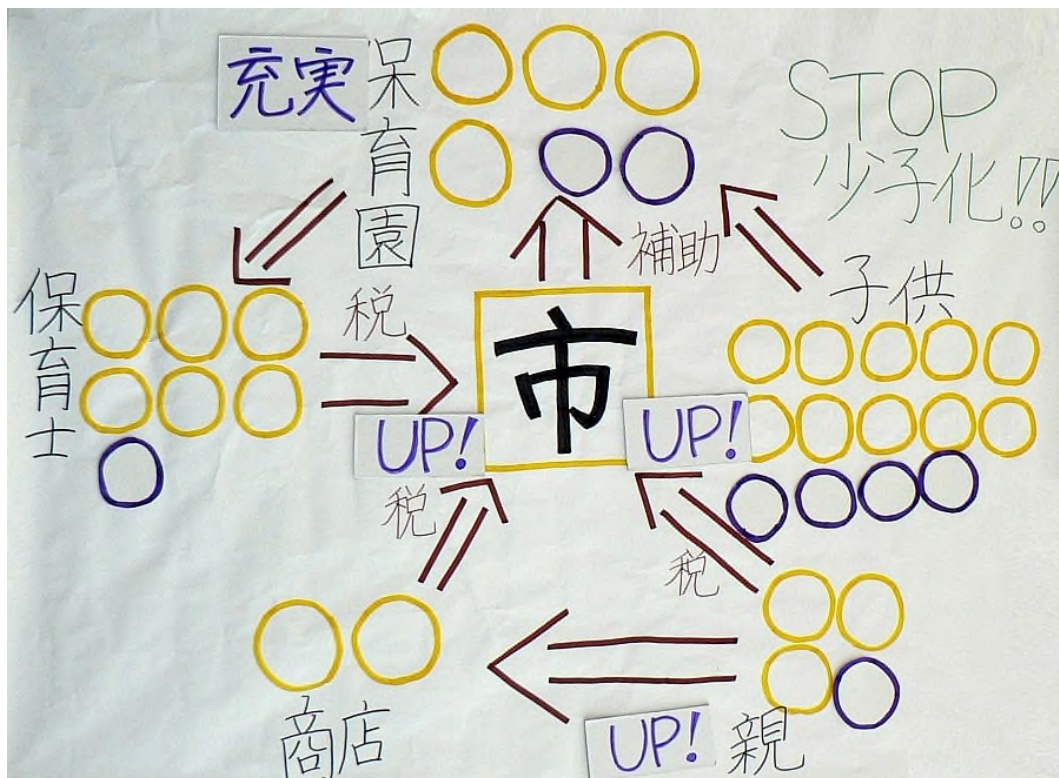
順序	会派名及び議員名	要 旨	掲載ページ
7	明るく楽しい町川越 小谷野 吉平(霞ヶ関北小学校6年) 宮國 結菜(霞ヶ関東小学校6年) 三本松 佑花(霞ヶ関西小学校6年) 勝間田 真衣(川越西小学校6年)	時の鐘のまわりが、10年後にはもっとにぎやかなまちになってほしい。	15～
8	School! ときも 吉澤 亨朋(大東西中学校2年) 柿島 世佳(霞ヶ関中学校2年) 中谷 充希(霞ヶ関東中学校1年) 加藤 大暉(霞ヶ関西中学校1年) 横井 舞菜(川越西中学校1年)	1 児童・生徒が授業への興味を持つことが出来る行事を増やしたい。 2 熱中症や、トイレに行けないなど、児童・生徒が困らない学校環境をつくりたい。	16～
9	川越future 藤田 優郁(川越第一中学校1年) 秋田 千聖(東中学校1年) 土屋 佑真(高階中学校2年) 佐藤 大介(砂中学校2年)	シャトルバスを利用する人があまり多くないから、利用する人を増やしたい。	19～

各会派の掲示資料

観光 in 川越



STOP 少子化!!




緑の川越

緑の川越

目標

「緑をふやし地球温暖化を防ぐ」

地球温暖化が進むと、太陽からの熱が大気にあるCO₂のため中にこもり、生物が生きている温度をこえて、生物が地球からなくなる(絶滅)を防ぐに地球温暖化を防がないといけない。





提案

「河原の緑化」

募金をして、苗を買う。そしてその苗を川の少しはなれた所に植える。

「緑化募金」

観光スポットに募金箱を置き、声かけをする。

チームMIKA嬢



よっ!! チームMIKA嬢

目標 観光場所を増やそう

〈理由〉観光場所を増やして子供から大人、外国人、私達の世代も楽しめるようにして、商業を盛んにし、川越を有名にしたいから。


提案

- 1: ポスターなどで**宣伝**をする
- 2: 新しい観光名所をつくる
- 3: 観光バスを**盛ん**にする

もっと広げよう姉妹都市

もっと広げよう 姉妹都市

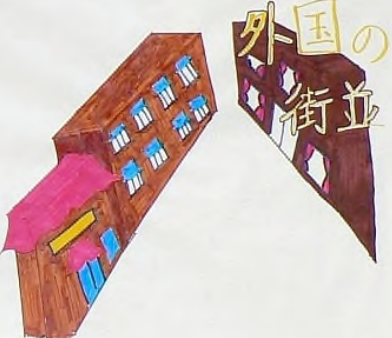


目標
 姉妹都市を増やして
 交流の輪を広げる

理由
 海外の文化を取り入れた川越らしさ
 のある街をつくりたいと思ったからです

提案
「世界の姉妹都市と…」
 姉妹都市の姉妹都市と交流する
 もっと交流する機会を増やす
 (外国人などと)

外国の街並



いろいろな国の人がたくさん
 いる新しい街づくり

国境をこえた
 異文化とのふれあい

小江戸 New Way

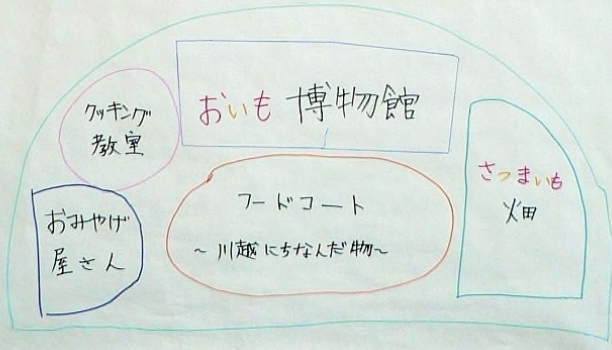
小江戸 New Way

代表者 置田 圭一朗
 発表者 金子佑亮
 野澤 一翠
 広報委員 川口 愛莉

目標 「おいしい さつまいもで
 街づくり」

提案 「こんな「さつまいもタウン」を
 つくりたい!!」

イメージ図



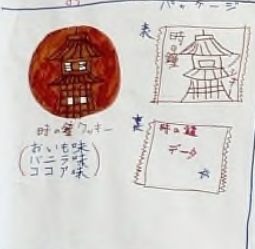
イメージ図の要素:

- カキカ 教室
- おみやげ屋さん
- おいも博物館
- フードコート ~川越にちなんだ物~
- さつまいも 畑

明るく楽しい町川越

明るく楽しい町川越

時の鐘祭り




時の鐘の味
おいも味
ココロ味

時の鐘
デザイナ

考え

時の鐘祭りでの時の鐘がもっと有名になって、今までよりもとにぎやかな町になってほしい。

お守り



お守り
お守り
お守り
お守り

イベント

個人戦

- 子供
- 大人
- 障がい者
- 小学生
- 中学生
- 高校生
- 高齢者(シニア)

クイズ

障がい者
障がい者
障がい者
障がい者

シークレット イベント

団体戦

- 家族
- 新社会人
- 友達

?

提案

時の鐘をメインにしたお祭りを開く。
 リーやクイズを企画する。
 シークレットイベントも企画し、
 昔の時の鐘のグッズを売る。

↓

将来は全国のたれもが知っている
 時の鐘を中心にもっとにぎやかに
 明るく楽しい町になると思う。

School! ときも

School! ときも

●目標

生徒が毎日「学校に行きたい!」
 というような学校づくり

【理由】

きちんとした指導を受けること
 によって、大人になったときに、様々な
 面から川越を考え、さらに活発で
 よい所にできると思ったから。

●提案

- ① 楽しい行事・授業の増加
- ② 設備の増加(トイレの改修、クラーの設置、地震対策)

【理由】①

専門的な授業を取り入れることで、
 様々な知識が身につくし、より楽しく
 学習できると思ったから。

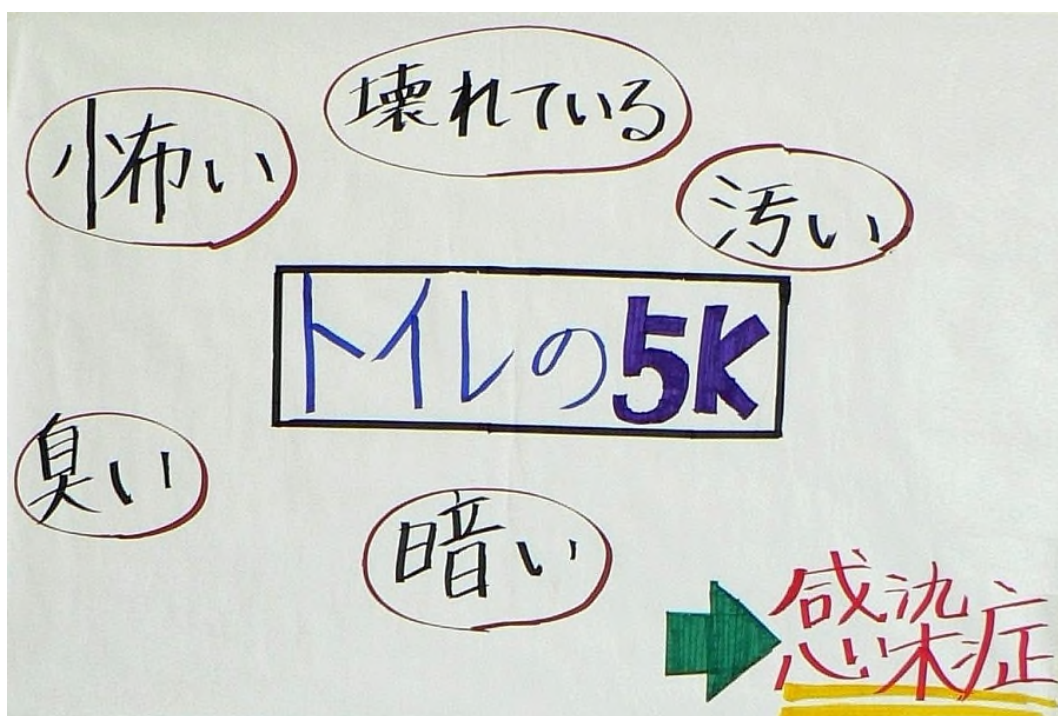
【理由】②

- ・地震... いっおこるかわからなくて不安だから。
- ・トイレ... 設備が悪いためトイレを嫌い、使用
できない人が増えてはる。
- ・クラー... 熱中症などで休んでしまう人が多く
きけんだから。

School! ときも



School! ときも



川越 future



質問テーマ シェトルバスについて

目標 利用客が少ないから
利用客を増やす工夫を
しよう

提案

- ・ 車体や車内のデザインや色を可愛くしたり、目立つようなものにする。
- ・ 車内に音楽を流す。
- ・ 一日の本数を増やす。

子ども議会だより